

建設観光委員会会議録

1. 日 時 平成22年5月24日(月曜日)
午前11時43分～午前11時51分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 佐々木 隆 義 委員長 岩 本 明 央 副委員長
秋 山 哲 朗 委員(議長) 河 村 淳 委 員
村 上 健 二 委 員 柴 崎 修 一 郎 委 員
西 岡 晃 委 員 下 井 克 己 委 員
馬屋原 眞 一 委 員
4. 欠席委員 な し
5. 出席した事務局職員
重 村 暢 之 局 長 岩 崎 敏 行 主 査
岡 崎 基 代 係 長
6. 説明のため出席した者の職氏名
村 田 弘 司 市 長 林 繁 美 副 市 長
山 本 勉 総合観光部長 綿 谷 敦 朗 総合観光部観光総務課長

午後時分開会

委員長（佐々木隆義君） 只今より建設観光委員会を開催いたします。先程、本議会におきまして本委員会に付託されました議案1件につきまして審査をいたしますのでご協力をよろしくお願いいたします。それではこれより審査を始めます。議案第5号平成22年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。執行部から説明をお願いいたします。はい、綿谷観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（綿谷敦朗君） それでは平成21年度の観光事業特別会計の決算見込みにつきまして、ご説明いたします。単年度収支で1億9,054万円の黒字決算となる見込でございます。平成20年度の赤字に対する繰上充用金が13億7,368万4,000円必要としたことから、平成20年度の繰上充用金から平成21年度単年度黒字1億9,054万3,000円を差し引いた11億8,314万1,000円の歳入不足が見込まれますので、これを充用するため今回の補正を行うものであります。

それでは、平成22年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第1号）のページナンバー5-11をご覧ください。始めに、歳出の款前年度繰上充用金・目前年度繰上充用金1億8,314万1,000円でございます。只今、説明しましたように11億8,314万1,000円の歳入不足が見込まれますため繰上充用するための補正を行うものであります。これは、平成20年度繰上充用金13億7,368万3,864円から平成21年度の単年度黒字分の1億9,054万2,864円を差し引いた11億8,314万1,000円を繰上充用するものでございます。

続きまして、歳出の款予備費・目予備費の2億5,500万円の減額補正でございます。これにつきましては、当初、予備費として2億6,199万6,000円を計上しておりましたが、歳入でご説明申し上げますが、歳入欠陥補填収入を減額するために今回2億5,500万円の減額補正を行うものであります。当初予算の予備費につきましては、観光事業特別会計の歳入額と歳出額を合わせるため予備費で調整を行ったものであります。

次に、ページナンバー5-9をご覧ください。歳入の款諸収入・目歳入欠陥補填収入9億2,814万1,000円を補正するものでございます。これは、歳出でご説明申し上げますが、前年度繰上充用金11億8,314万1,000円から予備費の2億5,500万円を差し引いた額であります9億2,814万1,000円

を歳入欠陥補填収入として補正をお願いするものであります。説明は以上でございます。

委員長（佐々木隆義君） 説明が終わりました。それでは本案に対する質疑はございませんか。はい、西岡委員。

委員（西岡 晃君） 本会議場で多くの方が質問されて、だいたい内容は理解できて健全に経営をされてるなということが解っておりますけれども、ちょっと視点がずれますけれども、今この観光会計健全に経営されております。これが周りの広谷地区とか秋芳地域、また美祿市全体における波及効果といいますか、この観光事業が健全化されて入洞者数も増加をしていってるこの波及効果の検証ですね、どういうふうにされておられるかということが、されておられればどういったことをされておられるかということと、効果がどのように出てるかというのが解れば教えていただきたいと思えます。

委員長（佐々木隆義君） はい、山本総合観光部長。

総合観光部長（山本 勉君） 検証と言うことでしたけども、具体的にですねアンケート等としての検証は今行っておりません。今、総合観光振興計画をですねやっております。この関係ではですねアンケートとりますので何らかの数値的なデータも上がってこようかとは思ってますが、今の地域に限っていいですと今年度は1万5,161人、秋芳洞ですね、お客さんは増えてます。増えておるということは、何らかのそこには経済効果は必ず生まれております。しかしながら、今の団体の傾向というのがですね現実問題は団体のお客さんは減っております。個人客が増えております。ということは、この1万6,000人が増客になったということは、個人のお客さんが、大きな要因と思っております。だからホテル関係はですね秋芳地域限ったことでは美祿地域に限ったことではありませんが、長門、萩、団体を受け入れておりますので、やはりちょっと減少傾向がありますが、やっぱり個人商店についてはですね何らかの経済的な効果はですねお客さんが増えたほどはあったものというふうに確信をしております。しかしながら、今の周辺の状況見てもらってゴールデンウィークなんかみるわけですけども、もう少しですねお土産袋を下げた人がですね増えてもいいんじゃないかと、しかし、これは行政のですねやはり一つの大きな仕掛けにもよりますし、今後、発足します観光協会のやはり大きな役割だろうというふうに思っております。今後、今指摘のあった分についても努力は

していきたいというふうに考えております。

委員長（佐々木隆義君） 西岡委員いいですか。ほかに質疑は。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（佐々木隆義君） それでは質疑を終わります。本案に対するご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（佐々木隆義君） それではこれより議案第5号平成22年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第1号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（佐々木隆義君） 全員異議なしと認めます。よって議案第5号は原案のとおり可決されました。

以上もちまして本日の本会議での本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたします。それではこれにて本委員会を閉会といたします。審査ご協力誠にありがとうございました。お疲れでした。

午前11時51分閉会

上会議の顔末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成22年5月24日

建設観光委員長

佐々木隆義